

NEW LIFE

No. 136

2024年8月

発行者／社会福祉法人 京都社会事業財団 ライフ・イン京都
制作・印刷／有限会社 アクト

ライフ・イン京都

〒615-8256
京都市西京区山田平尾町46-2
TEL.075-381-1870 FAX.075-381-1899
<https://lifeinkyoto.or.jp>

理念

介護付有料老人ホーム「ライフ・イン京都」は、自立支援の信念のもとに、永年社会に貢献された方々に、今一度自分の個性を見出し、豊かな生活環境の中で、活気ある生活、楽しい「生きがい」を再認識していただくと共に、すべての職員が自分の仕事に誇りを持ち、社会と地域に貢献することを目指します。



梨木神社 萩まつり

古くから京の人々に愛され、多くの和歌にも登場する萩。萩は万葉の時代に最も愛された秋草で、その字もくさかんむりに秋と書いて表し、国訓で「ハギ」と読みます。梨木神社は「萩の宮」とも呼ばれる京都を代表する萩の名所で、境内には500株以上の萩が植えられており、しなやかにたわむ枝と可憐な花が秋らしい情景を作り出します。

毎年9月、萩の花が咲き乱れる頃の第3または第4日曜日前後に「萩まつり」が行われます。祭典では、紅白の萩の花と鈴虫を竹のかごに入れてご神前に奉納するほか、狂言や舞などの奉納も。境内の萩には猷詠された短冊が下げられ、風流な光景があちこちに。たおやかな花の姿から、万葉の世界に思いを馳せて見ませんか。

『日めぐり京都365』

朝日新聞出版より編集・引用



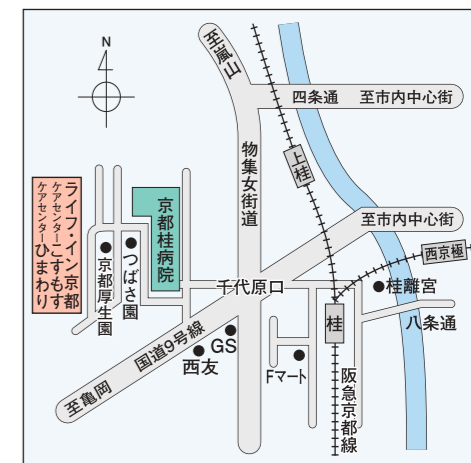
社会福祉法人 京都社会事業財団
ライフ・イン京都(本館)

ライフ・イン京都
ケアセンターこすもす

ライフ・イン京都
ケアセンターひまわり

ライフ・イン京都のデータ

- 事業主体：社会福祉法人 京都社会事業財団
- 敷地面積：14,216.87㎡ 事業主体所有
- 建物延面積：22,200.88㎡ 事業主体所有
- 居室数：一般居室（1DK～3LDK）全室個室77タイプ 226室（定員288名）
介護居室（ワンルーム）全室個室3タイプ 82室（定員82名）
- 居室面積：一般居室 31.19㎡～85.56㎡ 介護居室 15.71㎡～21.45㎡
- 交通の便：阪急京都線桂駅から約2,200m（専用バス約15分）
- 類型：介護付有料老人ホーム（一般型特定施設入居者生活介護）
- 表示事項：①居住の権利形態：利用権方式 ②利用料支払方式：選択方式
③入居時の要件：入居時自立・要支援・要介護
④介護保険：京都市指定介護保険特定施設（一般型特定施設）
⑤介護居室区分：全室個室
⑥一般型特定施設である有料老人ホームの介護にかかわる職員体制：2：1以上



！入居推進室からのお知らせ

個別入居見学受付中

ライフ・イン京都が選ばれる3つのポイント

- ポイント1** 同一法人が運営する 京都桂病院 (545床) との 医療連携体制が充実
- ポイント2** ほとんどの居室から 京都タワーや御所など 京都市内が一望できます
- ポイント3** 手厚い配置で 介護職・看護職が 24時間常駐

※ご見学の際は新型コロナウイルス感染症対策を徹底させていただいております。なお、ご体調によってはご見学をご遠慮いただくこともございますので、予めご了承ください。

社会福祉法人 京都社会事業財団
ライフ・イン京都
LIFE IN KYOTO

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
TEL.075-381-1870 FAX.075-381-1899
<https://lifeinkyoto.or.jp>



ご入居に関するお問い合わせは ☎ **0120-406-140** (入居推進部まで) 午前9時～午後5時 (365日対応受付)

雑感



社会福祉法人 京都社会事業財団
理事 源野 勝敏
(京都厚生園 名誉園長)

ライフ・イン京都の所在地である京都市西京区は、2年後の令和8(2026)年10月1日に区制50周年を迎えます。旧葛野郡松尾村であったこの界隈が京都市(右京区)に編入されたのは、昭和6(1931)年4月のことで100周年は令和13年となります。

私が福祉系の大学を卒業し、京都桂病院内の「京都厚生園開設準備室」に採用されましたのは、区が誕生して4年後の昭和55(1980)年4月でした。近隣の住宅には、まだ右京区の表示が各所に見受けられ、昭和53年に開所した西京区総合庁舎が真新しく、これから躍動していく若々しい雰囲気を感じました。統計的にも高齢化率が6・6%(令和3年国勢調査では28・6%)と市内で一番低く、洛西ニュータウンの人居も進んで若年層や子どもの増加に対応する多数の小学校の開校・西京図書館・洛西総合庁舎・西文化会館ウエスティなどの社会資源も充実して行きました。この頃は、近い将来の超高齢化社会を想像

することはできませんでした。しかし、大学では出生率の低下による少子化やベビーブーム世代の高齢化・長寿化の到来に向けた対策の必要性を学んでいたように思います。

このような状況の中、当法人の中核機関である京都桂病院では民間病院としては先駆的取組みであった専門医師や看護師・理学療法士・MSW(医療ソーシャルワーカー)などのチームによる老年内科診療が始められ、高齢者に対するリハビリテーションと生活機能維持のための適切な療養環境の確保の必要性が高まり、昭和55年6月に西京区で初めて(市内で8番目)の特別養護老人ホーム(以下、「特養」という。)京都厚生園が開設されました。当法人の動きとしては、その後、昭和56年に滋賀県大津市に特養の桐生園、昭和61年に故山下先生(京都社会事業財団名誉会長)、故矢崎先生(京都桂病院名誉院長)の尽力によりライフ・イン京都を開設しています。

病院の長期入院者でした。平成12(2000)年に介護保険制度がはじまるまでの特養の入所者は行政の措置制度で決定されていたので、市内全域から入所者を受け入れていたことが、利用契約の仕組みとなったことで、今は、近隣からの入所が多くなっています。

昭和55年当時の環境については、園庭の柿や栗の樹木の実、秋には虫の音が沁み渡るような静寂を楽しめました。しかし、冬は降雪も多く、土地が傾斜地のため土砂災害などにも注意が必要でした。設備面でも、井水やプロパンガス等の管理が必要で大変なことも多くありました。また、猿・狸・鹿など野生動物の訪問も多く、沢山の猿が園のペランダに長期逗留した折には、入所者の皆さんが餌を与えられたのは困りました。(そんなのかなかなか環境でした。)

今、ライフ・イン京都の5階テラスから見降ろすと、京都桂病院の近代的な病棟、平屋建てだった「つばさ園」が新規事業の「ももの木学園」との4階建て合築施設に、「松陽児童館」や「ひだまり保育園」も加わりました。京都厚生園はデイサービスセンターが増築(特養30床)されていますが、開設時の建物はそのままです。老朽化だけではなく、特養の取巻く環境の変化に留意した対策の検討が必要になっています。

法人内の高齢・障害施設(京都厚生園・京都桂川園)にしがも舟山庵・ライフ・イン京都)では、施設長会を中核に連携や協議を重ねています。野口理事長をはじめ法人の皆さんにも指導・支援を受けて各施設の中期計画も策定しました。私たちの活動がご利用者や地域・関係機関の皆さんに信頼され続けるように努めてまいります。ご理解・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

建設前の風景

奥がライフ・イン京都
手前が京都厚生園



開設時の
京都厚生園

寄稿

空想系創作小話③

★星に願いを

(2024.6.28)

平成四年頃、ある下町の線路際に大きな看板を掲げた「よろず相談所」があった。入口側は人目がないので入りやすく、依頼人がよく来た。ある日のこと、初老の男が毎日餌をやっている野良猫がいなくなったので、探して欲しいと訪ねて来た。聞けばペット禁止の狭い借家に一人暮らしで人との繋がりもなく、その猫が孤独を慰めてくれる大切な唯一の友だという。所長は猫のいた周辺をくまなく探し回ったが消息はつかめない。猫の代表的な好物の鰹節をめばしい所に置いてみたが、猫は現れない。ならばと、鰹節に好物の煮干しも添えて何日間も見張って

たが、依頼された猫は見つからなかった。さらに貼り紙作戦も行い、猫の特徴と何がしかの謝礼について書いた紙を電柱という電柱に貼った。が、いくら待っても音沙汰はない。それどころか電柱に貼り紙をしたことで警察に呼び出される始末となった。もう見つけられそうにもないと依頼人に言おうと思ったが、彼の孤独で淋しそうな顔が目につかび、それもできずに所長はどうしたものかと途方に暮れた。

ちょうどその頃は、ペルセウス座流星群が常よりも二倍以上多く出現していた。それで所長はひときわ多くの星が降った夜に、猫が

見つかるようにと祈りながら、必死の思いで流れ星に願いを託した。すると、探している猫にそっくりな子猫がどこからともなく現れた。喜んだ依頼人は所長の配慮で相談所に住み込みで働きながら、その子猫を飼うことになった。そして人との繋がりもでき、彼の孤独は解消していった。子猫は客にも可愛がられ相談所も繁盛した。所長は願いを叶えてくれた星への感謝を込めて、看板を「よろず相談所『星に願いを』」に書き変えた。



〈A・A〉

風を辿って

京都大学 東南アジア地域研究研究所 山田 千佳

猛暑が続いていますね。木陰の風、扇風機の風、クーラーの風を探して、乗り切るのかなさそうです。さて、インドネシアで調査をするようになって気づいたことがあります。それは現地の方が「げっぷ」をよくされるということです。お食事中等にこのコラムを読んで下さっていたら、下品な話ですみません。ただ、現代日本に根付いている「げっぷは下品」という考え方は、万国共通でないようです。インドネシア（私の知る限り、特にジャワやスマトラ）では、人前で大きなげっぷが出ても知らん顔、むしろ良いことだと捉えられています。なぜでしょうか？それは、多くの病気が「風が体の中に入る」ということと生じると信じられていることに関連します。げっぷというのは、体の中に入ったしまった風が外に出たということですから、喜ばしいサインなのです。そう言われてみると、日本でも、赤ちゃんがおっぱいを飲んだ後、背中をトントンしてあげて、げっぷが出ると皆で喜びますね。それと同じ感

覚で、インドネシアでは老若男女誰でもげっぷが出るということは望ましいこととされています。「風が入る病」への対処法も興味深いです。まず、クロカンです。クロカンというのは、硬貨などの丸みのある硬い物を使って、背中を擦って風を外に出す療法のことで、中国から東南アジアに伝わったと言われており、ベトナムやカンボジアでも行われています。強い力で擦るので、クロカンをしてもらった後の背中からは、真っ赤な跡が沢山ついて、見た目からは痛くないのかと心配になる程ですが、私も現地で「風が入った」時にお願ひしてみたところ、意外に気持ち良いものでした。さらに、マッサージも大切な療法です。面白いのは、マッサージ師の腕前の測り方です。どんな人がマッサージ上手と思われるでしょうか？それは、マッサージ中にげっぷを沢山出す人です。達人であれば、体に溜まった風が、マッサージ師の腕、そして体を通して外に出ると考えられています。



クロカンをしてもらっている様子。塗るとほかほかするカユプテ油を塗りながら硬貨で擦ってもらいます。

日本でも、昔から風が病を引き起こすと考えられてきました。その考えは、一説には、中国文化の影響を受けた、ここ京都で平安時代から広まったそうです。そう言われてみると、風邪、破傷風、風疹、痛風、中風と、風がつく病名が多くありますね。日本、中国、東南アジアだけではなく、中東、欧州と、世界中で、風には、生きることに関連して大切な意味付けがなされてきたそうです。みなさんが小さい頃、風と病について、何か聞かれたことはありませんか？ぜひいつかお話を伺ってみたいです。時代を超えて昔からの知恵を辿っていくと、海を超えた知恵の繋がりが見つけられるかもしれません。

わいわい健康探検

～フィールド医学通信～

2024年 5月～8月 最近のイベントの紹介

講演会 & コンサート

4月20日 スプリングコンサート ピアーチェ

5月17日 西京医療出前講座
「健康寿命を延ばして、より良い生活を」
松本 祐子 様 (三菱京都病院)

6月2日 シャンソンエトワール

7月20日 講演会「紫式部と源氏物語」
山本 淳子 様 (京都先端技術大学)

8月10日 講演会「謎めいた送り火鳥居形」
～特異性とその起源～
荒毛谷 潤 様 (鳥居形松明保存会 会長)



西京医療出前講座



シャンソンエトワール

講演会「紫式部と源氏物語」

講演会「謎めいた送り火鳥居形」



スプリングコンサート ピアーチェ

4月から8月いろいろなコンサート、講演会を実施いたしました。

大河ドラマでも話題の源氏物語についての講演会や五山送り火の鳥居形について鳥居形松明保存会の方に講演いただいたり、シャンソンコンサートやクラシックコンサート等楽しいひと時を過ごしました。

その他

5月5日 菖蒲湯

6月19・22日 健康長寿検診

7月4日 運営状況説明会

7月7日 七夕カラオケ広場

8月16日 五山送り火の夕べ



健康長寿検診



運営状況説明会



菖蒲湯



七夕カラオケ広場



五山送り火の夕べ

今年の8月16日には五山送り火のイベントを4年ぶりに再開しました。まだ以前のような形での開催はできませんでしたが、ビンゴ大会に花火、送り火鑑賞を楽しみました。



information
お知らせ掲示板



●入居推進部 入居相談室

雨森 拓海
出身…熊本県
趣味…サッカー観戦、料理など



●ケアサービス課 ケアセンター介護課

グエン・ヌ・クエ・ニユ
出身…ベトナム
趣味…読書

新人職員紹介

令和6年5月から8月末までの間に、14名の方がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

●ご逝去のお知らせ

令和6年6月24日 四〇七号室 塚 本 和 子様
他に5名の方がご入居されました

【ひまわり】
令和6年7月7日 九一九号室 西 城 嘉 子様
令和6年8月23日 一〇〇八号室 松 本 小 夜様

●新しくご入居されました
令和6年5月から8月末まで



入退去状況

ソシオフードサービスがお食事を提供しています
いつもご利用いただきありがとうございます。



2024年4月よりライフ・イン京都様の食事提供サービスを担当するソシオフードサービスでございます。当社は、1963年の創業で「大切な人のために作る愛情いっぱいの料理とサービス」を事業の原点として、「てしおにかけた究食へ」という想いを込め、豊かなシニアライフを支える食事を追求しております。

約40席の本館レストランでは、予約制ではなく自由喫食のフルサービスにて朝昼夕とも2種類の定食を提供させていただいております。夕食時には旬の食材を使用した行事食や日頃とは異なったお食事をご用意しております。また麺類やカレーなどの定番メニューも、朝、昼、夕いつでも定食以外に選択いただけるよう準備しております。特に、朝食と昼食では、8種類の小鉢料理の中からお好みの小鉢を3種類お選びいただき、「楽しい食事」づくりを心がけております。尚、食事はすべて、厚生省の栄養基準に準じており、ご入居の皆様の健康維持、管理をサポートさせていただいております。

ケアセンターでは、作り立ての食事をお届けするため、ケアセンターひまわりの厨房で調理させていただいております。ケアセンターにご入居の皆様には、通常食のほかご入居者様の状態に合わせて食べやすい形に調理した「形態食」として一口大、スライス食、ミキサー食、ソフト食などを提供し残さずにお召し上がりいただけるよう工夫をして低栄養やフレイル等の予防をサポートしております。

今後ともご入居の皆様によりご満足いただけますよう努力してまいりますので、引き続きご愛顧いただけますよう、よろしくお願いいたします。

今後もより一層ご満足いただけるよう、
4つの取り組みを予定しております。

- 1 選べる楽しさをより充実させるために定番メニューのラインナップを増やします。
- 2 よりご満足いただくためのイベント食を月4回実施してまいります。
- 3 四季折々をより感じていただくためさらに季節の食材等を取り入れます。
- 4 お食事をお召し上がる事が難しいご入居者様へは、食の道としての一期一会「食べたい食事」の提供を試みてまいります。



ケアセンターひまわり・ケアセンターこすもす
ケアセンター便り

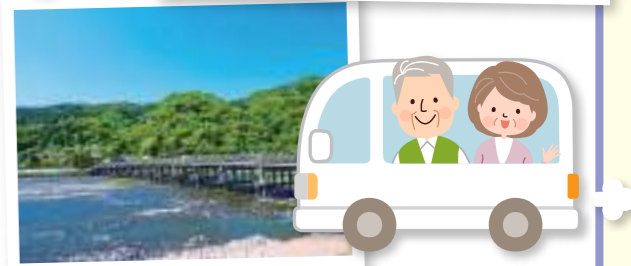


野外レクリエーションに行ってきました!

春夏の野外レクリエーションで外食やドライブ、買い物、カフェに行ってきました。ご入居者の皆さんからの要望が多かった高島屋でのショッピング&ランチ、カフェ、嵐山観光に出かけてきました。



- 1 京都高島屋・ショッピング&ランチ
- 2 嵐山ドライブ・観光&ランチ
- 3 個別外出&ランチ



久しぶりの外食でハンバーグ



今回の野外レクリエーションから感染対策に注意し、外食を再開いたしました。皆さんにとって待ちに待った外食だったので「これなら外に出かけたい。また、連れて行って欲しい。行きたいところがまだまだある。」等と喜んでおられました。

カフェでくつろぎの時間



ご入居者の皆さんとお食事が楽しめました!

